

A I による管路劣化予測技術の導入検討業務 提案書評価基準

評価事項	評価項目	評価の視点	配点	評価及び評価点の目安
業務実施体制 (計 10 点)	業務実施体制	本業務の目的を理解し、業務を円滑に進められる適切な人員数、配置、分担になっているか。	10	・ 万全である (10) ・ 概ね整っている (5) ・ 不十分である (0)
業務実績 (計 10 点)	参加者の実績	参加者が、A I による管路劣化予測技術について、十分な実績を有しているか。	5	・ 十分な実績がある (5) ・ 実績がある (3) ・ 実績が乏しい (0)
	主任技術者、担当技術者の実績	本業務を担当する主任技術者、担当技術者が、A I による管路劣化予測技術について、十分な実績を有しているか。	5	・ 十分な実績がある (5) ・ 実績がある (3) ・ 実績が乏しい (0)
提案内容 (計 80 点)	所有する技術の本業務への適合性	本市での利用に適した A I モデルを構築する技術を所有しているか。	10	・ 十分に適合している (10) ・ 適合している (5) ・ 適合していない (0)
	プロジェクトマネジメント	業務の工程、作業内容、品質管理、リスク対応などが具体的に計画され、統合的に管理する計画が整っているか。	10	・ 特に優れている (10) ・ 優れている (8) ・ 標準的な内容である (5) ・ やや不十分である (3) ・ 不十分である (0)
	予測精度の確保	A I の予測精度を向上させるための具体的かつ有効な方法が提案されているか。	15	・ 特に優れている (15) ・ 優れている (13) ・ 標準的な内容である (8) ・ やや不十分である (5) ・ 不十分である (0)
	劣化予測過程の透明性の確保 (「説明可能な A I」の構築)	予測結果への影響が大きい説明変数や、予測結果の根拠を可能な限り明らかにする方法が提案されているか。	15	・ 特に優れている (15) ・ 優れている (13) ・ 標準的な内容である (8) ・ やや不十分である (5) ・ 不十分である (0)
	継続的な利用のしやすさ	毎年の管内調査箇所選定業務で A I を利用していくにあたり、継続して質の高いサービスを比較的安価に提供する方法が提案されているか。	20	・ 特に優れている (20) ・ 優れている (15) ・ 標準的な内容である (10) ・ やや不十分である (5) ・ 不十分である (0)
	参加者の強みや工夫を活かした提案	本業務の目的達成や A I の活用方法の高度化に資する有効な方法が提案されているか。	10	・ 特に優れている (10) ・ 優れている (8) ・ 標準的な内容である (5) ・ やや不十分である (3) ・ 不十分である (0)